

☆☆☆ あなたの声を町政へ ☆☆☆

(無所属)

2・3面に
一般質問内容を掲載

木内としお 通信 第66号



上牧町議会議員
木内利雄

----- ごあいさつ -----

大粒の梅干ひとつ暑気払い 福田甲子雄

皆さまは、どのような「暑気払い」をされているのでしょうか。ウェブ検索をしたらいろいろな話、方法がありました。お時間のある方は一度どうぞ・・・

誰が信用しますか「100年安心」

6月5日成立した年金改革関連法は、政府・与党が当初胸を張った「100年もつ制度」からはほど遠く、前提となる出生率や年金保険料の納付率次第では早期の見直しが迫られかねない(04年6月6日 朝日新聞)。正論であります。また6月3日の参院厚生労働委員会では自民、公明党が抜き打ち的に強行採決をした。結果、共産、社民そして今期で引退する西川きよし議員らの質問の機会が剥奪されました。多数の力で発言の機会を奪うという行為は言語道断であります。

一方、自衛隊の多国籍軍「参加」問題でも、国会でほとんど議論せずに政府が独断で決定する。そして自民、公明党が追認をするという形であります。多国籍軍参加で国会承認が不要だというのはシビリアンコントロールの軽視、国会の自殺行為に等しいものであります。



----- あなたのご意見、ご要望を お聴かせ下さい -----

木内利雄 (きうち・としお)

〒639-0216 奈良県・上牧町松里園2-5-11
TEL 0745-78-7612 ・ FAX 0745-79-2241

E-mail : since96@k-toshio.com
<http://www.k-toshio.com> (ホームページ)

現職；総務委員長・議会運営委員・ごみ処理問題建設委員



----- 公約実現に全力投球 -----

木内としお議員の 一般質問 (要旨)

..... 質問事項



1. 南上牧地域の廃棄物不法投棄への対処について
2. 行財政の見直しについて
3. 杉田町長の政治姿勢について
 - ① 障がい者福祉施策について
 - ② 高齢者福祉施策について
 - ③ 行財政改革について

~~~~~ 南上牧墓地およびチチブ池周辺の 不法廃棄物の処分と対策について ~~~~~

パトロールを強化する

チチブ池の廃棄物は町で対処する

木内 南上牧墓地、そしてチチブ池周辺では廃棄物の不法投棄が目立つ。廃棄物の早期の処分と不法投棄させないための対策について答弁を求める。

部長 数年前から指摘の場所については不法投棄が目立つため地主に不法投棄されないような対策、例えば有刺鉄線の柵を設置する等をお願いをしている。またパトロールを強化したい。

木内 柵の設置は進んでいないと認識している。柵を設置する費用に対して地主に対して町から一定の補助を出すべきではないか。

部長 補助金となると多額の予算を要する。しかし杭(クイ)の現物支給は可能である。

木内 チチブ池の所有権は、

部長 上牧町である。

木内 それではチチブ池に棄てられているテレビ、タイヤ等は上牧町の責任で早々に処分するべきであると考えているが。

部長 分かりました。上牧町で対処する。

..... 不法投棄はやめよう

~~~~~ 行財政の見直しについて ~~~~~ 電子計算機使用料および プログラム賃借料について

木内 上牧町の電子計算機使用料およびプログラム賃借料の歳出は年間1億円を超えるものとなっている。また毎年増額の傾向にある。近年の厳しい財政状況から見て抜本的に改革を要するものの一つだと考えるが。

部長 当初予算作成時においては業者への値引き交渉をふくめ、事務の見直しを行い委託料の削減を図っているところである。

木内 パソコンに詳しい町職員も多くいる。業者に100%委託するのではなく職員で同業務を行うようにするべきではないか。

部長 経費の削減になるのはもちろんのこと職員を育成するということは将来の財産ともなるので検討したい。

自主財源の確保について

木内 次に自主財源の確保について伺う。上牧町では「かんまき広報、ごみカレンダー」などの刊行物を各家庭に配布しているその印刷物を広告媒体として有料広告の掲載を行う。また上牧町ホームページへのバナー広告【3面の用語説明参照】を有料で掲載することを提言する。町当局の見解を求める。

部長 財政難の時でもあり、新しい財源の一つとして検討したい。ちなみに近隣では大和高田市でも実施しているので調査したい。

—— 町長の政治姿勢について ——

木内 杉田町長の政治姿勢について伺う。今回は障がい者福祉、高齢者福祉、行財政改革それぞれについて答弁を求める。

障がい者福祉施策について

町長 02年3月に上牧町障がい者福祉基本計画を策定。この計画の基本理念は、障がい者の可能性を最大限に高め、その全人間的な復権を目指す「リハビリテーション」と、障がい者の生活環境や条件など社会側のあり方に目を向けながら、障がいのある人もない人も誰もが等しく家庭や住み慣れた地域で、お互いに人間として尊重し合ながら普通の生活ができるようにしていくとする「ノーマライゼーション」の二つの理念がある。

そして、障がい者が社会生活及び地域生活の発展に参加し、平等な配分を受け、他の町住民と同等の生活をする権利の実現を目指す「完全参加と平等」を目標に掲げている。この目標に基づいて、障がい者福祉施策を実施していく。



高齢者福祉施策について

町長 早いもので、介護保険制度が始まり3度目の上牧町老人保健福祉計画及び介護保険事業計画の見直し時期にきている。

この計画を元にして高齢者福祉を進めている。今後尚一層、生きがいと誇りの持てる長寿社会の実現のために計画の基本的な考えである高齢者が健康で安心した生活を営むための保健・医療・福祉を一層充実する。

そして、生きがいと誇りの持てる長寿社会

で高齢者の積極的な社会参加が出来る町づくりを行う。

また安全で安心して暮らせる町づくりと、高齢者を支える地域づくりの推進を引き続き行う。その目標実現を図るべく「活力ある健康寿命の延伸」に向けて、「健康上牧21計画」を策定中である。

また、心身の機能が低下しても高齢者が住み慣れた地域で自立した生活をおくることが出来、さらに、家族介護者への支援が図られるような保健、福祉サービスを軸とした高齢者の在宅生活を支援する環境づくりを促進し高齢者が健康で生きがいを持って生活をおくることが出来るよう、介護予防事業や健康づくりを積極的に推進する。



行財政改革について

町長 行財政改革の取り組みは、98年度に「行政改革大綱」を策定し、事務事業の見直しや自主財源の確保に努めてきた。しかしながら景気低迷による町税の減少や交付税の削減により、財政状況は、ますます厳しいものとなっている。

今後尚一層の行財政改革が必要であると考え、町一丸となって取り組みたい。

【用語説明】 バナー広告 = Banner

インターネットの Web ページ上に表示される広告。

「バナー」というのは横断幕という意味だが、広告の形が横長の矩形であることからこう呼ばれる。バナーには広告主の Web ページにリンクが貼られており、ユーザーがクリックすればジャンプする仕組みになっている。ニュースサイトなどの無料サービスのほとんどはバナー広告からの収益によって成り立っている。

(4)

6月10日の7町合併協議会で新市の名称が「西和市(せいわし)」と決定されました。次の大きな課題は「議会議員の定数と任期の取り扱い」です。8月4日の第15回合併協議会で協議、決定される予定です。

(下記一覧表の①②③案の内からいずれかを選び決定されます)

市町村合併に伴う議会議員の定数及び任期の取り扱いについて

項目	① 合併特例法を適用しない場合	② 定数特例を適用する場合	③ 在任特例を適用する場合
7町の現職議会議員の身分	合併と同時に失職	合併と同時に失職	引き続き新市の議員として在任
選挙期日	新市設置の日から50日以内	新市設置の日から50日以内	設置選挙は実施しない
定数	地方自治法で定める定数(7町の場合34人)を超えない範囲で7町の協議により定める。(7町議会の議決が必要)	合併後最初に行われる選挙に限り、地方自治法で定める定数の2倍(7町の場合は68人)以内で7町の協議により定める(7町議会の議決が必要)	7町の議員定数の合計 108人 平群町 16人・三郷町 15人 斑鳩町 16人・安堵町 14人 上牧町 16人・王寺町 16人 河合町 15人
任期	4年	4年	合併後2年を超えない範囲で、7町の協議により定める期間

☆定数特例と在任特例を同時に採用することは出来ない。

☆上記内容は7町合併協議会の説明資料より転載。

..... 木内議員は上記「①案」を提案しています

6月23日の上牧町合併問題調査特別委員会での発言要旨

木内：この度の市町村合併の趣旨から考慮すれば①案が妥当である。

②、③案では住民の理解は得られない。

..... 皆さまのご意見をお聴かせ下さい

【少子化対策：雑感】『小泉政権も発足直後から保育所の「待機児童ゼロ作戦」などを掲げる。だが、04年度の保育予算は3456億円で、前年度より1400億円減った。今回の児童手当拡大も、所得税の配偶者特別控除廃止が財源で、財源の付け替えで新しさを演出したに過ぎない。=04年6月19日朝日新聞』



年金問題にからみ「少子化」が大きな社会問題になっている。全国的な低出生に対する政策論議が90年代後半から盛んとなった。また政府が少子化対策を始めて丸10年。しかし、この間、出生率は右肩下がりで推移している。政党の選挙目当てなどの小手先の対策ではなく、抜本的対策、施策が緊急の課題であることを政府そして各政党、議員は認識すべきである。

議会傍聴にお越し下さい